



環境戦隊エコレンジャーにふんした町下自治会

“なりきり”で楽しんだ

奥玉ふるさとまつり

第34回奥玉ふるさとまつり(実行委員会主催)は8月15日、奥玉ふるさとセンターで約1000人が参加し開かれました。同まつりは、千厩地域で行われる地区単位の夏祭りの中でも大規模な催しで、毎年大勢の見物客でにぎわっています。

恒例の自治会対抗仮装盆踊りは、各団体が趣向を凝らした衣装や奇抜なメイクなどで出演。観客の目を楽しませてくれました。フィナーレは、田んぼに打ち上げられたスターマインが秋めく夜空を彩りました。



風雨の中、参加者は自慢の牛を出品

ナイスボディが勢ぞろい

いわい東畜産共進会

第1回いわい東畜産共進会(実行委員会主催)は7月21日と22日、駒場ふれあい広場で開かれました。これまでJAいわい東管内の共進会は各地域ごとに行われ、一体化して実施されたのは今回が初めて。ホルスタイン種と黒毛和種合わせて228頭が出品され、部門ごとに月齢などに応じた体型美や毛並みなどが審査されました。

最高位の県知事賞にはホルスタイン種では熊谷茂都彦さん(室根町)、黒毛和種では岩淵良治さん(大東町)が輝きました。

都会っ子が千厩を体験!

伸び伸び、キャンプ生活

22年目のPAL PAL 交流事業「夏PAL 交流サマーキャンプ」は、7月23日から29日まで黄金山キャンプ場などで開かれ、東京都世田谷区などから小学生など34人が来町。地元の小中学生ら約100人とキャンプで交流を深めました。



間伐材に絵を描き参加記念の標識作りをする子どもたち

わくわく、農家暮らし

横浜市の神奈川大学附属中3年生70人が7月30日から3日間、千厩地域内の農家26件に宿泊し、農業体験学習を行いました。生徒たちは初めて体験する家畜の世話や小菊の出荷作業などに、目を輝かせながら取り組んでいました。



ブルーベリーの収穫を体験する生徒たち

生き生き、自然満喫

31年目を迎えた磐清水小と東京都台東区立根岸小のさわやか交流事業「ふるさと運動」は8月3日から6日まで行われ、同校から9人が来町。イワナのつかみ捕りや炭火焼きに挑戦し、泥だらけになりながら自然を満喫しました。



「やった!イワナを捕まえた」と喜ぶ根岸小の子ども

若者が主役の地域おこし事業 採択事業一覧

区分	事業名	実施主体
一体感のある地域づくりを推進する		
	みんなでミュージカル 今伝えよう 一関の年輪 ※9ページをご覧ください	みんなでミュージカル実行委員会
	一関広域ブロードバンドステーション	同実行委員会
	金沢祭り盛り上げ隊	金沢友遊会
	いわいの里Yosakoi フェスタin大東	大東Yosakoi 恋・来い連「菅原組」
	先人から学ぶ地域づくり公演 第1回「芦東山物語」	時の行方創作委員会
年代や職業などを問わず、多様な人材を育成する		
	山目ジュニア和太鼓奏者育成事業 目指せ!!太鼓の達人	山目倭太鼓打げき隊楽鼓
	いちのせき高校生チャレンジフェスタ	同実行委員会
	曾慶三未一隊の改革大作戦	曾慶三未一隊
	こどもは地域の宝物	「れっくる」と「ひまわり」
活発な産業活動を促すことにより所得の向上を図り、心身ともに健康な生活を送ることができる環境を整える		
	大町通りくつろぎ空間整備事業	同実行委員会
	花の縁めぐりを勝手に応援する事業 「お縁路さんの花めぐり」	花めぐり勝手に応援する会
	ふるさと(新一関市)PRビデオ製作事業	東山町商工会青年部
	松川まちおこしMAXマーケット	同実行委員会
	地名が逆さ交流	室根RC
	電ショックKAWASAKI 2006V	同運営委員会
市民自らが発案し自らが行動することにより、積極的な地域づくりを行う		
	二の神棚田古代ロマン発見事業	二の神棚田愛郷会
	大原まるごと道の駅事業 (ストップ・ザ・通過する人)	グループ「絆」

●問い合わせ先
本庁地域振興課
地域係
☎8671

その結果、市内の民間団体から24件の申請が寄せられ、市ではそれぞれの事業の目的や内容から補助の目的に適用のものとして、上の表の17件(補助金総額1349万1千円)を対象事業に採択しました。なお、補助の趣旨などから採択が見送られた事業についても、市民の交流や活力ある地域づくりに向けた、意欲的なアイデアが寄せられました。

大町通りの空き店舗を活用した「コミュニティルームcolors(カラース)」が8月1日、オープンしました。中心商店街のにぎわい創出と、市民活動や憩いの場として、大町に関わりのある若い皆さんで組織した大町通りくつろぎ空間整備事業実行委員会(小野寺浩樹委員長)が整備しました。

いすやテーブル、雑誌コーナーが備え付けられているほか、展示用のスペースも設けられ、大町を訪れた人が気軽にくつろげるスペースとなっています。

開館時間は10時から19時まで。毎週木曜日が休館日となっています。



夏まつり期間中には一関高専のロボット相撲コーナーも設けられ、人気を集めました

「コミュニティルーム colors」

地域の「元氣」を若者が

始めよう
若者主役の地域おこし



雨にも負けず、成功に向け頑張った皆さん

「若者が主役の地域おこし」第1号として「いちのせき高校生チャレンジフェスタ」が7月29日、磐井川河川公園で行われました。地域や学校の枠を超え、大東、一関工業、千厩各高校生徒有志26人で組織した実行委員会(芦香委員長=大東高3年)が企画運営を担いました。

あいにくの雨模様の中にも、高校生による焼き鳥、焼きそばの販売や15業者による新鮮な食品などの露店が並んだ会場には大勢の人が訪れました。また、もちつきやかき氷早食い大会などが行われ、会場を盛り上げました。手づくりのイベントを成功のうちに成し遂げ、高校生たちには満足そうな笑顔がこぼれていました。

17事業を採択

「若者が主役の地域おこし事業」

市は、本年度の「若者が主役の地域おこし事業」の補助対象として17の事業を採択しました。同事業は、活力ある地域づく

りを推進するために本年度創設した「地域おこし事業」の一つとして、おおむね40歳代以下の市民により構成される団体を対象

に、一体感の醸成や人材育成、産業振興などを目的とする▽若い皆さんが自ら発案した先導的な事業▽交流人口が増加する事業▽若い皆さんの意気込みを感じる事業▽明確な目的をもつ事業にに対し、対象事業費の3分の2を基本として補助を行うもので、7月3日から20日までの期間、広く募集を行いました。